



2学期も健康で安全に過ごしましょう

校長 笹原 秀之

今年の夏も、猛暑と台風や大雨などによる災害に関するニュースが大変多かったように感じます。実際に気象庁のデータで調べてみました。簡単な夏休みの自由研究です。さいたま市（旧市も含む）の毎年8月の最高気温の平均を10年ごとに見てみると、1980年代は34.3℃、1990年代は35.6℃、2000年代は35.9℃、そして2010年代（7年間のみ）は37.1℃と、明らかに高くなってきていることが分かります。



暑さでプールを中止したのは初めての経験でした。気象庁職員の「一つの災害と認識している。」という言葉に納得してしまうほどの危険性を感じるものでした。

このような厳しい環境の夏休み中、南小の子どもたちは大きな事故もなく過ごすことができ、元気に始業式を迎えられ、大変うれしく思います。

さて私は、この夏休みに、今までなかなか行く機会が持てずにいました宮城県釜石市の大川小学校（現在はすでに跡地となっている）を初めて訪れました。北上川の土手を下ると、当時のままの校舎の姿が目飛び込んできました。7年前の東日本大震災の時から常に忘れてはならない教訓として心にとどめておいたあの惨事。亡くなった子どもたちや先生方の思いや動きを想像すると胸が締め付けられる思いでした。当時とは別の場所に動かされて置かれてある正門の前で手を合わせた時は、思わず涙があふれてきました。校舎から校庭、形を残していない体育館、押し寄せた津波の高さが示されている裏山と巡りながら、想像できないような災害が起こる今、「あらゆることを想定して普段から備えと対応の徹底を図らなくてはならない。」と再度肝に銘じて帰路につきました。



夏休みの後半には、4月に6年生が行った全国学力学習状況調査の結果が届きました。それによりますと、改めて南小の素晴らしさが見えてきました。学校外での生活状況に関するものとしても、

- 毎日、同じくらいの時間に寝て同じくらいの時間に起きる。
 - 家で、自分で計画を立てて勉強している。
 - 学校の授業以外の勉強時間
 - 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ち、何をすべきか考える。
- などの項目は大変高い結果が出ております。

また、学校生活では、突出して高いのは「学校の決まりを守る」で、「先生はよいところを認めてくれている」も大変良い結果が出ております。2学期も子どもたちのがんばっているところやよいところを認め、どんどん伸ばしていくことができるよう支援・指導を行ってまいります。

逆に少し気になったのは、朝食を全く食べない児童が少数ですがいることや、学校の授業時間以外では読書の時間が短いなどという結果でした。各御家庭でも状況を確認し、必要に応じて声をかけていただくようお願いいたします。

一時よりは収まってきたものの、2学期もまだまだ暑い日が続きます。体力と健康、そして学力のためにも（就寝時刻や朝食の摂取状況が学力に影響するという調査結果も出ています）しっかり寝て、朝も気持ちよく起き、食事もしっかり摂って、毎日元気に登校できるような生活のリズムを早く取り戻すようにしてください。

いよいよスタートです。子どもたち一人ひとりにとって実り多い学期となるよう、教職員一同努力してまいります。2学期もどうぞよろしくをお願いいたします。

